



令和 3 年 9 月 14 日  
内閣府（防災担当）

## 令和 3 年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和 57 年 5 月 11 日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

### 【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 浪越、内野、鈴木

電話：03-3593-2844（直） FAX：03-3503-5690

## 令和3年 防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞者名簿

### ○ 個人

#### 〔防災体制の整備〕

名古屋大学大学院環境学研究科付属地震火山研究センター教授

山岡 耕 春

(愛知県)

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院副院長兼救命救急センター長  
兼医療社会事業部長

花 木 芳 洋

(愛知県)

西日本工業大学名誉教授

玉 田 文 吾

(福岡県)

九州大学教授

三 谷 泰 浩

(福岡県)

#### 〔防災思想の普及〕

壬生町女性防火クラブ顧問

大 畑 ト シ

(栃木県)

一般財団法人総合初等教育研究所参与

北 俊 夫

(埼玉県)

### ○ 団 体

#### 〔防災体制の整備〕

東京都赤十字救護ボランティア活動推進協議会

(東京都)

#### 〔防災思想の普及〕

岩根自主防災会

(愛知県)

御岳防災会

(愛知県)

今熊野学区自主防災会

(京都府)

上後藤二区防災会

(鳥取県)

徳島市津田中学校

(徳島県)

宮城県多賀城高等学校

(宮城県)

横浜市立太尾小学区防災まちづくり連携

(神奈川県)

豊橋手話通訳学習者の会・豊橋手話ネットワーク

(愛知県)

チームサツキ

(岡山県)

浜郷地区まちづくり協議会

(三重県)

海南市立下津第二中学校

(和歌山県)

心のあかりを灯す会

(東京都)

河内地区自主防災会連合会

(広島県)

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風)

千葉県電気工事工業組合

(千葉県)

(令和2年7月豪雨)

熊本県警察本部

(熊本県)

大分県警察本部

(大分県)

福岡県警察本部

(福岡県)

下呂市消防団

(岐阜県)

大牟田市消防団

(福岡県)

みやま市消防団

(福岡県)

球磨村消防団

(熊本県)

人吉市消防団

(熊本県)

八代市消防団

(熊本県)

芦北町消防団

(熊本県)

大石田町消防団

(山形県)

新庄市消防団

(山形県)

飯田市消防団

(長野県)

相良村消防団

(熊本県)

伊佐市消防団

(鹿児島県)

第十管区九州大雨災害対策本部

(鹿児島県)

第8師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊

(熊本県)

(令和2年台風第10号)

宮崎県警察本部

(宮崎県)

椎葉村消防団

(宮崎県)

(令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号)

国土交通省緊急災害対策派遣隊

(東京都)

内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊

(沖縄県)

国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊

(茨城県)

(令和2年8月大規模工場火災)

大田原市消防団

(栃木県)

以上 44件(6個人、38団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	やまおか こうしゅん 山岡 耕春
住 所	愛知県名古屋市千種区
職 業	名古屋大学大学院環境学研究科付属地震火山研究センター 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、昭和61年以降35年間、地震学・火山学において優れた成果を残しており、最先端の研究や幅広い知見を踏まえ、様々な場を通じて防災行政へ有用な提言を行っているほか、講演・執筆活動や防災教育等を通じて地域の防災力向上に貢献するなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>研究活動においては、最先端技術を用いた地震・火山活動に係る観測技術開発及び地殻活動の解明等に取り組んでおり、高い学術成果を挙げている。近年では2016年から2020年まで（公社）日本地震学会の会長を務め、2019年からは地震予知連絡会会長を務めるなど、研究活動・学会活動を主導する同氏の功績は極めて大きい。</p> <p>さらに、防災行政においても、「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の委員、「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会」の座長、「火山防災対策推進ワーキンググループ」の副主査、「日本海溝・千島海溝沿いにおける異常な現象の評価基準検討委員会」の座長などを務め、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合の防災対応や、御嶽山噴火を踏まえた各種火山対策等において、幅広い知見から数多くの有用な提言を行うなど、多大な貢献をされている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	はなき よしひろ 花木 芳洋
住 所	愛知県名古屋市昭和区
職 業	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院副院長 兼救命救急センター長兼医療社会事業部長
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成24年12月から大規模災害時に愛知県の災害医療調整を行う本部災害医療コーディネーターに就任し、平時から愛知県の災害医療体制の整備に積極的に貢献している。また、平成25年5月から愛知県災害医療協議会の委員など、愛知県における救急医療や災害医療に関する各種協議会や委員会の委員を歴任しており、愛知県の災害医療体制の構築に向けた様々な助言を行ってきた。</p> <p>さらに、厚生労働省が主催するDMAT養成研修等、毎年数多くの研修で講師を務めており、全国規模で災害医療従事者の育成に取り組んでいる。</p> <p>大規模災害における活動としては、平成12年の有珠山噴火災害から被災地内での医療救護活動に携わっており、東日本大震災、熊本地震、平成30年西日本豪雨及び令和元年東日本台風において、発災当初から被災県でDMAT等の医療チームの活動調整等を行い、医療提供体制の構築に尽力した。</p> <p>このように、愛知県を中心に、全国規模での災害医療体制の構築に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	たまた ぶんご 玉田 文吾
住 所	山口県山陽小野田市
職 業	西日本工業大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成9年以降24年間、「北九州市防災アドバイザー」として、災害発生時の応急対策や災害復旧対策等を実施するための助言、指導及び防災啓発事業の講師、さらには、本市と防災に関する共同研究等を行うなど、本市の防災行政に多大なる貢献をしてきた。</p> <p>これまで173回、災害現場に赴き専門家としての的確なアドバイスをを行うほか、職員研修の講師を務めるなど、現在もお精力的に本市防災アドバイザーとして活動し、市民が安全で安心して暮せるまちづくりや本市職員の防災力の向上に貢献しているところである。</p> <p>特に、平成30年7月豪雨では、被災直後より、延べ12日間にわたり、57箇所土砂災害現場や擁壁の崩壊現場、本市の重要インフラである北九州都市高速道路の法面崩壊現場を調査するなど、被災後の応急対策、災害復旧対策への的確な助言により、災害からの早期復興を進めることができた。</p> <p>また、北九州市との共同研究の成果等をまとめた冊子を発刊するなど自身の見識の伝承にも力を入れており、市職員の防災力向上に寄与した功績は非常に大きい。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	みたに やすひろ 三谷 泰浩
住 所	福岡県糸島市
職 業	九州大学教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成29年7月九州北部豪雨災害において、九州大学の教員約50名からなる「九州大学災害調査・復旧・復興支援団」を組織し、その団長として被災地に入り、復旧活動の支援を行った。</p> <p>また、災害の原因究明、復旧に向けた地域住民のための集落会議などの開催、行政への復旧対策へのアドバイスをを行い、被災地の復興計画の策定を行った。その後の復興段階では、被災地での地区防災マップ、タイムラインを活用した新しい地区防災計画の策定を行った。</p> <p>さらに「東峰村災害伝承館」を設立・運営し、被災地の復興に向けた活動にも貢献している。</p> <p>これらの減災活動の地域への普及にも努めている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	おおはた 大畑 トシ
住 所	栃木県下都賀郡壬生町
職 業	壬生町女性防火クラブ顧問
功 績 の 概 要	<p>氏は、長年にわたり会長、顧問を務め会員の育成や会の発展に尽力をされている壬生町女性防火クラブにおいては、現場の最前線でリーダーシップを発揮し、あらゆる災害に対応できるよう常に「自分たちでできる防災」について考え、実践している。特にイベントでは、炊き出し訓練の一環として、それぞれの会員が自宅の冷蔵庫にある食材を持ち寄り、約300人分の雑炊を作り運営の段取りを確認・検討するほか、火災報知器や消火器の重要性を紹介するなど、身近に潜む火事を初期段階で対応できるよう普及している。</p> <p>さらに、万が一の際に落ち着いて行動がとれるよう、消火器での初期消火はもとより、怪我の手当てや心肺蘇生等の救急救命の訓練も行っている。</p> <p>また、小中学生の防災教育に対しても積極的な取り組みを行い、防災に関する標語などを印字した100枚以上のしおりを手作りし、未来を担う子どもたちに対しても活動を行い、防災思想の普及に多大な貢献をしていることは誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	きた としお 北 俊夫
住 所	埼玉県さいたま市浦和区
職 業	一般財団法人総合初等教育研究所参与
功 績 の 概 要	<p>氏は、学校教育において、土砂災害防止教育を特別な教育として扱うのではなく、社会科や理科など普段の教科指導の中で確かな知識を身に付け、防災意識の向上を図ることの重要性を終始一貫して指摘するなど、土砂災害防止に関する防災教育の推進と発展に多大な業績をあげてきた。</p> <p>平成20年改訂の学習指導要領に基づく解説の作成に当たって、小学5年の学習内容として土砂災害に関する理解が深まるよう注力した。これを受け、平成23年度から使用された小学5年生用教科書では編集代表者として、土砂災害に関する基礎的知識をはじめ、実際の土砂災害や砂防ダム、ハザードマップ等の写真や前触れについてのイラストを掲載し解説するなど、これまでにない内容構成の教科書を作成し、児童への土砂災害に関する知識の普及における大きなターニングポイントとなった。</p> <p>さらに、氏の尽力もあり、平成29年改訂の学習指導要領では土砂災害に関する指導内容が小学4年に拡充された。</p> <p>長年にわたり土砂災害防止に資する防災教育の普及に果たした氏の貢献は、非常に大きなものとなっている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	厚 生 労 働 省
ふ り が な 名 称	とうきょうとせきじゅうじきゅうごぼらんていあかつどうすいしんきょうぎかい 東京都赤十字救護ボランティア活動推進協議会
所 在 地	東京都新宿区
代 表 者 (団体での職名)	会長 つるた かくみ 鶴田 福海
功 績 の 概 要	<p>東京都赤十字救護ボランティア活動推進協議会は、平成25年以降9年間、災害時の救護活動、平時の防災教育に従事し、毎年自らが主体となってボランティアの養成講習を実施し、体制の拡充を図ることで、日本赤十字社の災害対応力及び地域の防災力の向上に大きく寄与している。</p> <p>また、コロナ禍においては、感染防護具（フェイスシールド、ビニールエプロン）を作成し、医療機関へ寄贈するなど、創意工夫に富む優良な活動を実施し、防災体制の強化に係る活動として高く評価される。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	いわねじしゅぼうさいかい 岩根自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>たかおか きよし</small> 高岡 喜良
功 績 の 概 要	<p>岩根自主防災会は、年4回のペースで「防災だより」を発行しており、令和3年3月時点で通算74号の発行となっている。防災活動の結果や、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ防災対策の啓発として、活動範囲内の全戸に配布し、災害への備えを呼びかけている。</p> <p>防災訓練では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施し、平成27年度から実施している安否確認の訓練である「無事なら白いタオル掛け運動」では、地域全体で参加できる防災訓練として積極的な参加を呼び掛けており、掲示率の上昇に努めている。</p> <p>また、「各戸に水・非常食を必ず」を積極的に地域の方々に伝え、避難先アンケートによる地域ごとの避難行動の確認、調査を行うことで、各家庭での防災対策の向上や、防災思想の普及啓発に努めている。</p> <p>令和元年度から導入した「1日ヘルパー」は、現役で仕事をしている方や主婦の方が防災会の定例会等に参加するのは難しいが、防災訓練日のみ指導等で参加をしていただくために始めた制度で、今後若い世代の入会のきっかけになるよう継続して増員を図っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	おんたけぼうさいかい 御岳防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	会長 甘 口 進
功 績 の 概 要	<p>御岳防災会は、平成27年から御岳防災サポートの会との共催で、4月28日の近い日に「みんなで考えよう防災・減災～忘れない阪神・淡路、東日本大震災～」を毎年開催している。</p> <p>また、防災講話や感震ブレイカーの普及活動など、地域の関係団体と連携した防災思想の普及啓発を実施しており、毎年行われる秋の防災訓練における安否確認訓練では、玄関先へのタオルかけなどで、85%以上の世帯の安否確認を行った。</p> <p>さらに、通信機の取り扱い確認や資機材の点検などを行っており、これらの活動を通して、地域防災力の強化推進に努めている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	いまくまのがつくじしゅぼうさいかい 今熊野学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市東山区
代 表 者 (団体での職名)	会長 しょうが ひろみ 生賀 洋美
功 績 の 概 要	<p>今熊野学区自主防災会は、各自主防災部を対象とした防火講習会を毎年1回実施している。また、防災まちあるき（タウンウォッチング）も併せて実施し、災害時の避難場所や避難経路の確認のほか、坂道や階段などの地域特性の把握や防災上の課題を抽出し、共有することでコミュニティの防災力を高めている。</p> <p>また、災害時には緊急連絡網や避難所開設情報等を配信するツールとして、平常時には自主防災会の活動の様子を若い世代等を含めた多くの住民に知ってもらうため、また、過去の災害被害の記憶を風化させないために、SNS（LINE, Facebook, Instagram）を用いた防災情報の発信を定期的に行っている。</p> <p>今熊野学区の現状と課題を踏まえて、全ての世代に対して安心して暮らせるまちとするため、今後のまちづくりの指針を考え地域で共有する取組を行っている。その結果、顔の見える関係づくりや、災害時はみんなで協力して難関を乗り越えられるコミュニティ力の向上に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	かみごとうにくぼうさいかい 上後藤二区防災会
所 在 地	鳥取県米子市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>にしもと ようじ</small> 西本 洋二
功 績 の 概 要	<p>上後藤二区防災会は、災害図上訓練、緊急避難訓練などの防災訓練や防災研修会の実施に積極的に取り組み、この内、防災訓練においては、特に災害時要援護者の支援に力を入れ、個別事例ごとの図上訓練や実際に車いす等での搬送訓練を行うなど、地区内の各班において災害時要援護者の協力支援体制を構築している。</p> <p>さらに、本会では「火災からの逃げ遅れゼロ、安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指し、会の中に「女性防火クラブ」を結成。住宅用火災警報器設置の取り組みでは共同購入や設置説明会、高齢者宅への取り付けサービス等により会員の9割を超える世帯の設置に尽力したほか、一人暮らしの高齢者宅の訪問や声かけ等を行うふれあい活動により平時の支え愛の輪を広げ、有事には災害時要援護者支援に繋がるように取り組んでいる。</p> <p>このように、女性のならではの視点等も取り入れながら高い防災意識を継続し、地域防災力の向上に努めている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	とくしましつだちゅうがっこう 徳島市津田中学校
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	校長 <small>たむら ひろやす</small> 田村 浩康
功 績 の 概 要	<p>徳島市津田中学校は、教育課程（総合的な学習の時間等）の中に「防災」をテーマとして取り入れた防災教育を実践してきた。令和2年度には、徳島県中学校統一研究大会「総合的な学習の時間」において研究発表校として、その取組を県内全中学校に発信した。現在も、地域の課題を踏まえ、校区保幼小やPTA、地域住民と連携しながら防災活動を継続している。</p> <p>また、実際の活動にあたり「津田中の防災」をハブとして、活動を支援する関係団体同士に新たなネットワークが生み出されたことも大きな成果である。</p> <p>さらに、その実践活動が報道機関の協力も得ながら、県内外に広く伝わり、徳島県の一つの実践モデルとして確立され、徳島県の防災教育のモデルとなるような創意工夫に富み、波及効果が大きい活動を行っており、防災意識の啓発活動として高く評価される。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みやぎけんたがじょうこうとうがっこう 宮城県多賀城高等学校
所 在 地	宮城県多賀城市
代 表 者 (団体での職名)	校長 おの たかひろ 小野 敬弘
功 績 の 概 要	宮城県多賀城高等学校は、平成24年以降10年間、生徒がデザインした津波標識の設置、県外・海外からの来校者に対する生徒による被災地域の「まち歩き」案内活動、災害科学科の設置等、創意工夫に富む優良な防災教育を行っている。また、同校への訪問者は年間1,000名を超え、国内外からの教育機関関係者の視察は年間300名以上にのぼるなど、他地域への波及効果も非常に大きい。以上の活動は、防災意識の啓発活動として高く評価される。

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	よこはましりつふとおしょうがっくぼうさいまちづくりれんけい 横浜市立太尾小学区防災まちづくり連携
所 在 地	神奈川県横浜市港北区
代 表 者 (団体での職名)	あきもと けんいち 秋本 健一
功 績 の 概 要	<p>横浜市立太尾小学区防災まちづくり連携は、平成23年以降11年間、授業参観と地域防災訓練の共催等、学校を拠点とする防災まちづくりの点で、創意工夫に富む優良な活動を行っている。</p> <p>「太尾小学校防災拠点訓練」には毎回約2,000人が参加し、学校・家庭・地域が連携・協働した取組が定着している。この実施に当たっては運営協議会を設置し、協議会には学区内の自治会関係者、学校関係者、PTA、行政などが関わり、運営主体を一極化せず、地域みんなで取り組む組織として常に改善を図り持続可能な組織となっている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	とよはししゅわつうやくがくしゅうしゃのかい・とよはししゅわねっとわーく 豊橋手話通訳学習者の会・豊橋手話ネットワーク
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者 (団体での職名)	会長 ひらまつ やすいちろう 平松 靖一郎
功 績 の 概 要	<p>豊橋手話通訳学習者の会・豊橋手話ネットワークは、平成24年以降10年間、聴覚障害者のための「避難所でのお知らせ絵カード」や「防災ピクトグラム」の作成等、創意工夫に富む優良な活動を行っており、豊橋市以外の地域に対しても波及効果がある。</p> <p>また、聴覚障害者自主防災ガイドブックの作成をはじめ、東日本大震災被災地視察報告会を開催し、パネル展示や募金・支援物資の寄贈などを行っている。</p> <p>さらに、防災講演会や、自主防災学習会の開催、市の総合防災訓練への参加や聴覚障害者向けイベントでの防災啓発などの防災活動は多岐にわたっている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ちーむさつき チームサツキ
所 在 地	岡山県倉敷市
代 表 者 (団体での職名)	つだ ゆきこ 津田 由紀子
功 績 の 概 要	<p>チームサツキは、平成30年西日本豪雨で被災した倉敷市真備町において、クラウドファンディングを活用して、被災者が地域に戻れるように賃貸住宅を改修し住民の住まい、交流の拠点として整備するとともに、災害時は一時避難場所として建物上階への避難を容易にするための坂路の整備に取り組んでいる。</p> <p>その取組を全国に発信する等、創意工夫に富み、他地域への波及効果も認められる優良な活動を行っており、防災意識の啓発活動として高く評価される。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	はまごうちくまちづくりきょうぎかい 浜郷地区まちづくり協議会
所 在 地	三重県伊勢市
代 表 者 (団体での職名)	会長 むらた しゅういち 村田 修一
功 績 の 概 要	<p>浜郷地区まちづくり協議会は、小学校区5自治会の自治会役員、自主防災隊を中心に地域の防災リーダーを育成すると同時に、小学校と密な連携を保ち、小学生の防災対応力を高め、将来の防災活動の担い手の育成にも力を入れている。設立以来8年間毎年「防災総合訓練」を繰り返し行うとともに、ホームページも充実し、防災活動について整理されており、地域住民に情報が発信されている。同時に、情報を得た他地域・組織の参考となり、防災活動の広がりにも貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かいなんしりつしもつだいにちゅうがっこう 海南市立下津第二中学校
所 在 地	和歌山県海南市
代 表 者 (団体での職名)	校長 あぶらや まさゆき 油谷 正之
功 績 の 概 要	<p>海南市立下津第二中学校は、生徒がボランティア活動に積極的に取り組むことで市民性を身に付けるとともに、地域を知り、将来の災害に対応できるよう取り組んでいる。</p> <p>また、東日本大震災を教訓とし、南海トラフ地震に備え、海南市や海南市教育委員会と連携して避難体制の見直しを行うとともに、これまで10年にわたり、津波避難訓練や防災学習を積み重ね、中学3年間を通じて、生徒が自ら命を守るための知識と行動力を身に付ける取組を実践してきた。</p> <p>令和元年度には、海南市や海南市社会福祉協議会、地域住民、校区の小学生、福祉系専門職、学生、ボランティアと連携し、南海トラフ巨大地震を想定した津波避難訓練、避難所運営訓練、災害ボランティア活動訓練を実施した。</p> <p>また、避難生活や災害関連死、復旧・復興期の「くらし」について学び、東日本大震災当時に小・中学生だった学生たちを全国から約50人招き、東日本大震災や南海トラフ地震について語り合うグループワークを全校生徒で実施し、成果発表を行った。</p> <p>これらの取組を通じ、生徒たちは、少子高齢化や地域活性化などとともに、災害を複合的な地域課題の一部と捉え、生徒自身が地域の一員として災害を自分ごとに捉えることができるようになった。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	こころのあかりをともしかい 心のあかりを灯す会
所 在 地	東京都練馬区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <sup>すずき ゆうこ</sup> 鈴木 裕子
功 績 の 概 要	<p>心のあかりを灯す会は、手作りの人形劇や紙芝居を通じて自然災害の恐ろしさや災害発生時の行動を子どもたちに伝える等、「自分の身は自分で守る。」という防災教育を行っている。</p> <p>また、震災発生時に限られた食材、調理器具で作れる食事を考案し、防災訓練会場で試食会を行うとともに練馬区のホームページにレシピを掲載するなど、食を通じて防災意識の高揚を図っている。</p> <p>令和元年度は25回活動し、幼児や小学校低学年の児童を中心に2,173名に対して防災教育を行った。直近10年間に320回活動し、27,571名に対して防災教育を行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こうちちくじしゅぼうさいかいはんごうかい 河内地区自主防災会連合会
所 在 地	広島県広島市佐伯区
代 表 者 (団体での職名)	すぎた せいじ 杉田 精司
功 績 の 概 要	<p>河内地区自主防災会連合会は、平成11年6月29日に発生した豪雨災害について、この災害の経験と教訓を踏まえ、災害の記憶を残すとともに、地域における防災意識の向上を図るため、地域に密着し、自主的な防災活動を継続して行っている。</p> <p>「6.29豪雨災害」を風化させることなく、後世に伝承し、地域住民の土砂災害防止意識を醸成するため、毎年、追悼式と防災講演会を併せて「忘れまい6.29集会」として、平成11年から毎年、計22回を開催し、毎年150名程度が参加している。</p> <p>令和2年3月には、「6.29豪雨災害」をしっかりと記憶に留めるため、当時、地域住民が撮影した写真や動画、地域住民や学校の教諭、消防団員等の体験談を収録したDVD「6.29豪雨災害の記録」を制作した。</p> <p>地域住民の早期避難に繋がるよう、河内地区情報メールの導入や雨量計の設置、「避難行動タイムライン」の策定等に取り組むとともに、当該団体が中心となり民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会を始めとする災害時の避難支援関係団体・機関が相互に連携を図るため、他地区に先駆けて「河内地区防災ネットワーク」を立ち上げる等、様々な活動を行ってきた。</p> <p>地域独自の幅広い活動を推進しており、地域住民の土砂災害防止思想の普及に尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	経 済 産 業 省
ふ り が な 名 称	ちばけんでんきこうじこうぎょうくみあい 千葉県電気工事工業組合
所 在 地	千葉県千葉市中央区
代 表 者 (団体での職名)	理事長 <small>しまの</small> 嶋野 <small>さだお</small> 貞雄
功 績 の 概 要	<p>千葉県電気工事工業組合は、令和元年房総半島台風に際し、前年の台風と比較しても約1.5倍もの電柱の折損・倒壊が生じ復旧が長期化する中、延べ523名の体制で、倒木の撤去、電力設備の復旧工事、仮設電源の設置等の活動に従事し、低圧引込線の復旧工事及び配電線の目視調査等を行った。</p> <p>地元自治体や電力会社、住民からの要請に応え、災害復旧に尽力し、計33日間の活動期間で、被災地における早期復旧と公衆安全の確保に多大な貢献をした。</p> <p>同組合は、令和元年東日本台風に際しても、関東甲信地方等の広範囲で記録的な大雨が発生する中、房総半島台風での対応の経験も生かして、延べ85名の体制で、低圧引込線の復旧工事及び配電線の目視調査等を行った。</p> <p>計13日間の活動期間で、早期復旧と公衆安全の確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	くまもとけんけいさつほんぶ 熊本県警察本部
所 在 地	熊本県熊本市中央区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>やまぐち ひろたか</small> 山口 寛峰
功 績 の 概 要	<p>熊本県警察は、令和2年7月豪雨に際し、延べ約2,300人の体制で、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たるとともに、救出救助活動により水没家屋等から約350人を救出し、計18日間の出動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また、各都府県から派遣された広域緊急援助隊等に対し、救出救助、捜索活動等の支援など適切な受援を行い、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	おおいたけんけいさつほんぶ 大分県警察本部
所 在 地	大分県大分市
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 まつだ てつや 松田 哲也
功 績 の 概 要	<p>大分県警察は、令和2年7月豪雨に際し、延べ約900人の体制で、情報収集、被災住民の避難誘導、被災自治体へのリエゾン派遣等に当たるとともに、綿密な捜索活動により県内行方不明者6人全員を発見するなど、計20日間の出動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ふくおかけんけいさつほんぶ 福岡県警察本部
所 在 地	福岡県福岡市博多区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>のむら</small> 野村 <small>まもる</small> 護
功 績 の 概 要	<p>福岡県警察は、令和2年7月豪雨に際し、延べ約500人の体制で、情報収集、被災住民の避難誘導、被災自治体へのリエゾン派遣等に当たるとともに、救出救助活動により水没家屋等から約100人を救出し、計14日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

<p>推 薦 者</p>	<p>消 防 庁・国 土 交 通 省</p>
<p>ふ り が な 名 称</p>	<p>げろししょうぼうだん 下呂市消防団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岐阜県下呂市</p>
<p>代 表 者 (団体での職名)</p>	<p>団長 <small>むささ</small> 無<small>さとし</small> 笹 聡</p>
<p>功 績 の 概 要</p>	<p>下呂市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、河川の氾濫等の災害に対し、土のう積みによる民家への浸水防止、住民の避難誘導等に、延べ1,826名が出動し、降り続く豪雨による、土石流の発生や道路崩壊という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おおむたししょうぼうだん 大牟田市消防団
所 在 地	福岡県大牟田市
代 表 者 (団体での職名)	団長 ふじよし けんし 藤吉 研史
功 績 の 概 要	<p>大牟田市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ592名の体制で、300名以上の市民を救出、避難誘導のほか、冠水による油漏れやプロパンガス流出によるガス漏れ対応を行う等、計9日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みやまししょうぼうだん みやま市消防団
所 在 地	福岡県みやま市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>さんこだともひろ</small> 三小田 智裕
功 績 の 概 要	<p>みやま市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ1,252名の体制で、昼夜にわたり水防工法や住民の避難誘導、孤立住民の救出活動等を行い、浸水被害、人的被害の軽減に多大に貢献した。</p> <p>また、降雨の合間（7月8日、11日）に、延べ2,500袋以上の土嚢作成を行い、その後の災害対応にも尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府・消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	くまむらしょうぼうだん 球磨村消防団
所 在 地	熊本県球磨郡球磨村
代 表 者 (団体での職名)	団長 まつの みちお 松野 三千夫
功 績 の 概 要	<p>球磨村消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ874名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、自衛隊活動の支援、救助への補助、支援物資搬送、道路啓開等を行い、計26日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府・消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひとよししょうぼうだん 人吉市消防団
所 在 地	熊本県人吉市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>あかいけ えいすけ</small> 赤池 栄祐
功 績 の 概 要	<p>人吉市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ920名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計21日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府・消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	やつしろししょうぼうだん 八代市消防団
所 在 地	熊本県八代市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>やまもと かずき</small> 山本 一樹
功 績 の 概 要	<p>八代市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ1,936名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計72日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府・消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	あしきたまちしょうぼうだん 芦北町消防団
所 在 地	熊本県葦北郡芦北町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>まつざき</small> 松崎 <small>まさし</small> 政司
功 績 の 概 要	<p>芦北町消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ2,079名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計49日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おおいしまちしょうぼうだん 大石田町消防団
所 在 地	山形県北村山郡大石田町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>はやさか</small> 早坂 <small>かずよし</small> 和義
功 績 の 概 要	<p>大石田町消防団は、令和2年7月豪雨に際し、3日間にわたり、延べ708名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり水防活動にあたった。</p> <p>内水氾濫を防ぐため、災害協定に基づき委託した地元建設業者とともに水中ポンプを合計9台設置し、水中ポンプや消防ポンプを使った内水排水作業を行った。また、月の輪工等の水防工法により漏水等による被害を未然に防いだ。</p> <p>この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	しんじょうししょうぼうだん 新庄市消防団
所 在 地	山形県新庄市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>あさい かずお</small> 浅井 一男
功 績 の 概 要	<p>新庄市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ201名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり排水活動と河川巡視を行った。</p> <p>また、避難が済んでいない住民に対して戸別に訪問を行い、住民の避難誘導を行った。その結果一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	い い だ し し ょ う ぼ う だ ん 飯 田 市 消 防 団
所 在 地	長 野 県 飯 田 市
代 表 者 (団体での職名)	団 長 <small>さ か ま き</small> 坂 巻 <small>よ し ひ ろ</small> 剛 弘
功 績 の 概 要	<p>飯田市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、延べ733名の体制で、新型コロナウイルス感染症への対応を考慮しつつ、長期間の対応が可能となるよう時間交代制のシフトを組み、水防活動、災害処理活動、二次災害防止活動等を行い、計11日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	さがらむらしょうぼうだん 相良村消防団
所 在 地	熊本県球磨郡相良村
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>たやま</small> 田山 <small>ときのり</small> 時徳
功 績 の 概 要	<p>相良村消防団は、令和2年7月豪雨に際し、10日間にわたり、延べ634名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、土のう積み及び消防団小型ポンプによる内水の排水活動により浸水被害を未然に防ぐ活動を行った。</p> <p>この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害発生を出さなかった功績は多大である。</p> <p>また、被災後も、浸水した家屋の泥出し作業や田畑等の冠水処理、道路等の復旧作業、排土清掃作業を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	いさししょうぼうだん 伊佐市消防団
所 在 地	鹿児島県伊佐市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>みのだ しんいち</small> 蓑田 慎一
功 績 の 概 要	<p>伊佐市消防団は、令和2年7月豪雨に際し、7日間にわたり、延べ726名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、河川敷近隣住宅の浸水を土嚢積みにより未然に防いだり、用水路越水による住宅浸水を小型ポンプでの排水により防いだ。</p> <p>この他、住民の避難誘導、避難補助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	だいじゅうかんくきゅうしゅうおおあめさいがいたいさくほんぶ 第十管区九州大雨災害対策本部
所 在 地	鹿児島県鹿児島市
代 表 者 (団体での職名)	第十管区海上保安本部長 <small>はやま としや</small> 羽山 登志哉
功 績 の 概 要	<p>第十管区九州大雨災害対策本部は、令和2年7月豪雨に際し、回転翼航空機に特殊救難隊及び機動救難士を同乗させ現地に派遣し、孤立者の吊り上げ及び避難者の救助を実施するとともに、船艇を利用した給水支援、漂流危険物の回収及び航行警報の発出等多岐にわたる活動を実施したことは、早期の孤立者救助や被災者の支援に繋がった。</p> <p>巡視船艇延べ94隻、航空機延べ49機等の体制で、航空機による22名の救助、給水支援、漂流危険物の回収、航行警報の発出等を行い、計60日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	だいほちしだんさいがいほけんぶたいおよびどうきょうどうぶたい・どうしえんぶたい 第8師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊
所 在 地	熊本県熊本市北区
代 表 者 (団体での職名)	第8師団長 陸将 ほりい たいぞう 堀井 泰蔵
功 績 の 概 要	<p>同災害派遣部隊等の災害派遣は、熊本県知事からの災害派遣要請を受け、令和2年7月4日から同年8月7日までの35日間にわたり、延べ11万4千人をもって、各種の災害派遣活動に従事し、人命の救助と安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	みやざきけんけいさつほんぶ 宮崎県警察本部
所 在 地	宮崎県宮崎市
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 さとう たかし 佐藤 隆司
功 績 の 概 要	<p>宮崎県警察は、令和2年台風第10号に際し、延べ約450人の体制で、情報収集、被災住民の避難誘導等に当たるとともに、東臼杵郡椎葉村において発生した土砂崩れに伴う要救助事案において、要救助者1人を発見し、計9日間の出動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また、椎葉村において発生した土砂崩れに伴う要救助事案では、大阪府警察から派遣された広域緊急援助隊に対し、救出救助、捜索活動等に関する適切な支援を行い、県機動隊員等と連携した間隙のない災害警備活動を実施した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	しいばそんしょうぼうだん 椎葉村消防団
所 在 地	宮崎県東臼杵郡椎葉村
代 表 者 (団体での職名)	団長 しいば よしと 椎葉 吉人
功 績 の 概 要	<p>椎葉村消防団は、令和2年台風第10号に際し、延べ1,011名の体制で、住民の避難誘導、救助・捜索活動等のほか、民家周辺に流出した土砂の除去、被災した家屋の土砂除去に従事し、計19日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくどうつうしょうきんきゆうさいがいたいさくはけんたい 国土交通省緊急災害対策派遣隊
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者 (団体での職名)	隊長 あべ ひろのり 安部 宏紀
功 績 の 概 要	<p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、令和2年7月豪雨による災害に際し、令和2年7月3日から8月31日の約2ヶ月にわたり、全国からのべ10,435名が出動し、排水ポンプ車による緊急排水により病院や住宅孤立等を早期に解消するとともに、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、被害の全容把握、二次被害の防止、激甚災害指定の見込み公表の早期化等に貢献した。土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援、路面清掃車による粉塵除去等を実施するなど、被災地の復旧・復興に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>また、令和2年台風第10号による災害に際し、台風が特別警報級の勢力で接近する中活動を開始した。活動終了までの約3週間にわたり、全国からのべ1,138名が出動し、被害リスクが大きな地方自治体におけるリエゾン活動や、排水ポンプ車の前進配備を行うとともに、被災状況の把握、二次災害防止のための技術的助言等を実施した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ないかくふおきなわそうごうじむきよくきんきゅうさいがいたいさくほけんたい 内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊
所 在 地	沖縄県那覇市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 いさ まさゆき 伊佐 真幸
功 績 の 概 要	<p>内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊は、令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ147名の体制で、自治体所管施設（市道・村道）の被災状況調査の実施による、激甚災害指定の見込み公表の早期化など、計27日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんどぼくけんきゅうじょきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	上席研究員 あさい けんいち 浅井 健一
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊は、令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ32名の体制で、橋梁被災箇所、排水機場被災箇所、道路被災箇所、土砂災害発生個所に係る高度な技術指導を実施し、二次被害の防止や被災地の早期復旧に貢献するなど、計16日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	おおたわらししょうぼうだん 大田原市消防団
所 在 地	栃木県大田原市
代 表 者 (団体での職名)	団長 まつもと しげる 松本 茂
功 績 の 概 要	大田原市消防団は、令和2年8月プラスチック精製大規模工場火災に際し、延べ961名の体制で、地域の特性を活かした農業用水による消火活動を行い、付近山林へや付近住宅への延焼を防ぎ、計2日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。